

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28年5月16日

計画の名称	1 香深港における観光交流拠点創出計画
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)
計画の目標	交付対象 礼文町

観光客の玄関口である香深港において、観光客や町民が憩う緑地、観光クルーズ船が利用可能な係留施設、情報提供施設の整備等により、礼文島の観光振興を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	香深港における礼文町交流促進施設や緑地を中心とした賑わい空間への来訪者を1,700人増加
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
賑わい空間に隣接してクルーズ船観光客の乗降が可能となる係留施設を整備することにより年間約1000人のクルーズ船観光客を賑わい空間に誘導。	53,000人	-	54,000人	
賑わい空間において新たなイベントの開催が可能となり、来訪者が700人増加予定。	2,600人	-	3,300人 (2割増)	

全体事業費	合計 (A+B+C)	377百万円	A	307百万円	B	- 百万円	C	70百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	18.57%
-------	------------	--------	---	--------	---	-------	---	-------	---------------------------	--------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	事業終了後、平成28年5月
礼文町産業課において実施	公表の方法
	礼文町ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A2 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A2-1	港湾	北海道	礼文町	直接	-	地方	建設	緑地整備事業	緑地 5,917㎡	香深港（本港地区）						135	
1-A2-2	港湾	北海道	礼文町	直接	-	地方	改良	臨港道路整備事業	臨港道路幅(60m) 第1～3臨港道路 臨港第4道路、中央心頭臨港道路 新港臨港道路	香深港（本港地区）						95	
1-A2-3	港湾	北海道	礼文町	直接	-	地方	改良	護岸整備事業	南護岸整備	香深港（本港地区）						20	
1-A2-4	港湾	北海道	礼文町	直接	-	地方	建設	係留施設事業(浮桟橋)	浮桟橋1基	香深港（本港地区）						50	
1-A2-5	港湾	北海道	礼文町	直接	-	地方	改良	岸壁整備事業	上部工・舗装工改修	香深港（本港地区）						7	
											合計	307					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
											合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C1-1	施設整備	北海道	礼文町	直接	-	情報板整備	情報提供施設事業	案内版11基、案内所一式、展示資料一式	香深港（本港地区）						50	
1-C1-2	施設整備	北海道	礼文町	直接	-	天蓋施設整備	天蓋施設整備事業	天蓋施設一式	香深港（本港地区）						20	
										合計					70	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-1	港湾事業(1-A2-1、1-A2-2、1-A2-3、1-A2-4)と一体的に観光案内情報を提供する施設を設置し利用者の利便性向上を図り運用を検証する。	
1-C1-2	港湾事業(1-A2-2)と一体的に天蓋施設を設置し利用者の利便性向上を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 緑地の整備を行い、公安利用者の憩いの場が作られたことで、快適に過ごすことが出来る賑わい空間の形成が図られた。 臨港道路の整備を行ったことにより、円滑な車両通行が可能となり、利便性・安全性の向上が図られた。 係留施設（浮桟橋）の整備を行ったことにより、クルーズ船観光客の誘客が可能となった。 情報提供施設の整備により、港湾利用者の利便性が向上した。 天蓋施設整備事業により、雨天時における港湾利用の利便性の向上が図られた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（礼文町交流促進施設利用者数及びクルーズ観光客数）	最終目標値	54,000人	目標値と実績値に差が出た要因	クルーズ船による誘客数は1,439人となり、目標値である1,000人を超える結果となったが、地元住民数の減少や、高齢化により、礼文町交流促進施設の利用数が減少したため。
		最終実績値	48,840人		
	指標②（イベント集客数）	最終目標値	3,300人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	3,300人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

3. 特記事項（今後の方針等）	
<p>今後も、港湾利用者の利便性・安全性の向上に向けて施設の整備を実施し、魅力ある賑わい空間を創出することで、礼文島の観光振興を図る。</p>	

(参考様式3)

計画の名称	1 香深港における観光交流拠点創出計画	交付対象	礼文町
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		

